



# 16期生 施設実習報告会



7月31日(火)、介護職員初任者研修 16期生実習報告会が実施されました。介護実践Ⅲ選択者の宮林さん(3-4)、柴田さん(3-7)、森さん(3-7)、成田さん(3-6)の4人は実習指導者様、本校介護職員初任者研修講師の方を前に5月にグループホームふるさとで行われた施設実習の報告を行いました。2年次から介護職員初任者研修の学習をつづけている4人の集大成ともいえる、素晴らしい報告会となりました。



↑ 認知症とその課題の発表をする森さん(3-7)



↑ 認知症の方に対する適切な関わり方について発表する成田さん(3-7)



↑ 介護職員の仕事内容や利用者様の様子を報告する柴田さん(3-7)



↑ 認知症の理解について発表する宮林さん(3-4)



↑ 介護過程の実践を報告する柴田さん(3-7)と宮林さん(3-4)



↑ 介護過程の実践を報告する成田さん(3-6)と森さん(3-4)

今回の施設実習報告会を終えて4人は実習を終えての学びを振り返り、自分の目指す介護士像を以下のように発表し、報告会は終了しました。

「相手の気持ちを理解し尊重できる介護士になりたい。そのために、どの介護をするときも相手を思い理解した声かけの実践ができるよう、普段の生活から相手を思い尊重した声かけを心がけたい。」(3-4 宮林さん)

「利用者さまを知ることと、周りの職員との連携の大切さを実感した。将来は利用者様を笑顔にし、家族のような関わり方ができる介護士を目指したい。」(3-6 成田さん)

「利用者様がこの人はわたしのことを理解してくれていると思って頂けるような、安心した穏やかな暮らしをサポートできる介護士を目指したい。」(3-7 柴田さん)

「今後は認知症を和らげるような方法を学び、信頼され隣に居るだけで安心すると思って頂けるような介護士を目指したい。」(3-7 森さん)



実習をおえての学びを振り返り、感想を述べる4人

夏期休業終了後16期生は、同行援護従業者養成研修の資格取得に向けた学習が始まります。さらなる資格取得に向けて頑張ってください！